

医療法人愛生館 小林記念病院
看護職員負担軽減計画（2024年度）

【医療法人愛生館 小林記念病院の看護職員負担軽減計画について】

当院では、看護職員の勤務状況（夜勤回数、残業時間等）を把握し、安全衛生委員会による計画・評価を通して、継続的に看護職員の負担軽減策に取り組めます。

項目	現状	目標（達成期間）	目標達成のために必要な手順	2024年11月 評価
業務量の調整	勤務開始前に事前準備を行っている（時間外労働）	勤務前残業が発生しない	①申し送りの簡略化 ②業務分担の明確化	申し送りを廃止し、業務分担を整理中
	勤務終了後の時間外労働が発生している（処方された薬剤の処理）	勤務時間終了までに処方後の処理が完了する	①薬剤科との話し合い ②最終処方受付時間の徹底（医師へ協力を求める）	医師への依頼を継続する
多職種との業務分担・協働	看護補助者の夜間配置（各病棟2名以上）	現状維持（1年間）	看護補助者（夜勤従事者）の確保	現状維持できている
	看護補助者との業務分担の推進	現状維持（1年間）	①年1回以上の業務見直し ②介護協議会での課題検討	業務改善（とろみサーバーの導入）
	事務的業務を行う補助者の配置	現状維持（1年間）	①病棟クークの配置 ②クークへ移行できる事務的業務の整理	現状維持できている 継続検討
	薬剤師による入院時持参薬の確認	夜間休日入院を除く、全員に実施	薬剤科との話し合い	現状維持できている
	薬剤科による病棟配置薬等の確認	現状維持（1年間）	①病棟配置薬、定数の見直し ②薬剤科との定期的なミーティング	病棟配置薬の定数見直し、定数確認頻度の見直し（月2回→1回）
夜勤負担の軽減	夜勤回数の増加（5.8回） 昨年比0.2UP	夜勤回数の適正化（月5回以下）	①夜勤アルバイトの採用強化	継続中
	連続勤務がある	勤務表作成基準に則った作成	①勤務表作成基準の定期的な見直し ②作成基準に則った勤務作成	継続中
ICT・IoT等の活用による業務負担軽減	インカム台数の見直しによる効率化の向上	台数の検討と活用場面の拡大	①活用状況の調査	アンテナ増設による通話環境の改善を実施
	家族やその他関係者への連絡調整等、事務手続きの煩雑さ	情報通信機器、アプリ等による事務的業務の簡素化	①活用事例の収集・調査 ②導入検討	情報収集を実施中

2025年3月1日
医療法人 愛生館
小林記念病院 病院長

